

3協同組合に補助

知識融合型開発事業で

山陰両県

異分野の中小企業がノウハウを出し合い、新しい分野への開拓促進を図る、国の「融合化法」による本年度の補助対象に鳥取、島根両県からは三つの協同組合が決まった。事業は昭和六十三年からスタートしているもので、年間に最高千九百四十三万円(国、県各二分の一)が補助される。両県関係分は次の通り。

▽アークス(鳥取市、植木誠理事長) 高品位ゴルフシミュレーターの開発、補助額千九百万円。

▽島根県機能食品開発(大社町、森山幸雄理事長) 商品米飯に適した加工米穀、容器の開発、千九百四十三万円。

▽テクノくにびき(松江市、小松昭夫理事長) ガレー・シート・シャッターの開発、千九百四十三万円。